

施策分析シート（令和5年度）

No1

施策名	受入体制の充実と観光情報の発信	施策No	06-02	部課名	産業経済部観光振興課
				課長名	矢代 内線 460

関連部課名	産業経済部観光振興課				
-------	------------	--	--	--	--

行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市
	政策	06	人が集う魅力あるまちの形成

目的
国内外から荒川区を訪れる観光客の受入体制を充実させるとともに、広く荒川区の魅力を発信し、区のイメージアップと知名度向上を図る。

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文
		2年度	3年度	4年度	
①	まちの魅力	—	2.64	2.65	荒川区は区外から人が訪れたい魅力のあるまちだと思いますか？
②					
③					
④					

標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		2年度	3年度	4年度	5年度見込み	目標値(8年度)	
①	観光ボランティアガイド活動実績回数(回)	0	0	6	25	35	2~4年度は新型コロナウイルスの影響により受入数が減少
②	観光PR協力所設置件数	77	77	76	76	90	
③	まちあるきマップ発行部数累計(千部)	2,086	2,150	2,193	2,221	2,281	
④							
⑤							

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		3年度	4年度	差額	勘定科目		3年度	4年度	差額
	行政費用	給与関係費		17,015	9,977	▲ 7,038	地方税等		0	0
物件費			11,430	7,005	▲ 4,425	国庫支出金		0	0	0
維持補修費			0	0	0	都支出金		3,168	1,272	▲ 1,896
扶助費			0	0	0	分担金及び負担金		0	0	0
補助費等			2,282	3,192	910	使用料及び手数料		0	0	0
減価償却費			531	531	0	その他		0	0	0
不納欠損・貸倒引当金繰入額			0	0	0	行政収入合計(a)		3,168	1,272	▲ 1,896
賞与・退職給与引当金繰入額			1,831	1,217	▲ 614	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲ 29,921	▲ 20,650	9,271
その他行政費用			0	0	0	金融収支差額(d)		0	0	0
行政費用合計(b)			33,089	21,922	▲ 11,167	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 29,921	▲ 20,650	9,271
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 29,921	▲ 20,650	9,271	

貸借対照表	勘定科目		3年度	4年度	差額	勘定科目		3年度	4年度	差額
	流動資産	収入未済		0	0	0	流動負債		829	489
不納欠損引当金			0	0	0	還付未済金		0	0	0
その他の流動資産			0	0	0	特別区債		0	0	0
有形固定資産			2,193	1,823	▲ 370	賞与引当金		829	489	▲ 340
土地			0	0	0	その他の流動負債		0	0	0
建物			0	0	0	固定負債		6,062	4,113	▲ 1,949
建物減価償却累計額			0	0	0	特別区債		0	0	0
工作物等			5,523	5,523	0	退職給与引当金		6,062	4,113	▲ 1,949
工作物等減価償却累計額			▲ 3,330	▲ 3,700	▲ 370	その他の固定負債		0	0	0
無形固定資産			0	0	0	負債の部合計		6,891	4,602	▲ 2,289
建設仮勘定		0	0	0	正味財産		▲ 4,214	▲ 2,456	1,758	
その他の固定資産		484	323	▲ 161	正味財産の部合計		▲ 4,214	▲ 2,456	1,758	
資産の部合計		2,677	2,146	▲ 531	負債及び正味財産の部合計		2,677	2,146	▲ 531	

財務諸表に関する特措事項等

○行政費用において物件費の割合が高くなっているが、これは観光情報提供事業において、区の魅力を発信するための観光パンフレットの作成に要する経費を支出しているためである。
○物件費は前年度と比較すると大幅に減少しているが、これは3年度に「ことりっぴ日暮里」を作成したことによるものである。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○区のイメージアップと知名度向上を図るため、観光アプリや観光パンフレット、SNSを活用した情報発信のほか、観光ボランティアガイドの育成、区内宿泊施設や飲食店における外国人受入環境の整備に対する支援、ユニバーサルデザインによる観光案内標識、フリーWi-Fiスポットの整備、観光案内所等におけるきめ細かな観光情報の提供など、受入環境の充実と区内外に向けた情報発信に努めている。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に合わせ、観光目的の外国人旅行者は増加が見込まれる。</p> <p>○新たな客層へ情報発信するために、民間観光雑誌のフリーペーパーを作成し、区外書店等での配布を実施している。</p>
課題	<p>○今後の外国人観光客の受入拡大等を見据え、外国人観光客を含めたより一層の受入環境の整備が求められるとともに、区内外に向け、より効果的に広く情報を発信していくことが必要である。</p>
今後の方向性	<p>○SNS等を積極的に活用し、効果的な情報の発信を図る。</p> <p>○観光案内所を受入の拠点として、区内関係機関や関係団体、交通事業者等と連携し、質の高いサービスを旅行者に提供する。</p> <p>○荒川区を熟知した観光ボランティアガイドによる「まちあるきツアー」では、更に魅力的なコースを考案するなど、魅力向上を図る。</p> <p>○「多くの人が荒川区を知っている」という状態を目指し、観光PR協力所の拡大を進めるほか、外国語版観光パンフレットの作成など、外国人を含めた観光客にとって、より魅力的なサービスの提供に努める。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後に増加が見込まれる外国人旅行者に対応するため、老朽化した日暮里観光案内所のリニューアルを行う。</p> <p>○区の魅力を広く発信するため、国内外に向け、デジタル化を含めた多様な情報発信手段の検討・活用を進める。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
5年度	6年度	
重点的に推進	重点的に推進	<p>受入体制の充実を図るとともに、広く区の魅力を発信していくことで、区のイメージアップや来訪者の増加に繋がり、地域の活性化、区民の地域に対する誇りの高揚など様々な効果が期待できることから、当該施策を重点的に推進する。</p>

施策を構成する事務事業の分類

事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		3年度	4年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
観光情報提供事業	06-04-01	18,927	9,029	9,657	5,134	重点的に推進	重点的に推進	区のイメージアップ及び区外からの誘客を図るため、区内外に向けた様々な情報発信を工夫する取組を重点的に推進する。
荒川区観光大使PR事業	06-04-02	1,669	694	98	77	継続	継続	観光大使のPR力を活用し、区の魅力を発信するため、継続して実施する。
観光振興懇談会運営費	06-04-05	3,766	2,359	102	155	継続	継続	有識者や関係団体の意見をより実践的・具体的に今後の計画及び施策に反映するため、継続して実施する。
受入体制整備事業	06-04-07	8,727	9,840	3,854	4,831	重点的に推進	重点的に推進	観光案内所におけるきめ細かな観光案内をはじめ、観光案内標識の整備、観光ボランティアガイドの養成など、来訪者の受入環境の整備を重点的に推進する。
合計		33,089	21,922	13,711	10,197			